

3 1. 専門科目（看護学分野）

授業科目	担当教員	授業科目の概要
小児・女性看護学特講	渡邊タミ子教授 佐山 光子教授 渡邊 岸子准教授 定方美恵子准教授	小児及びライフサイクル各期にある女性と家族の健康支援において、特に多胎児や慢性疾患児とその親、家族の健康問題、不妊や女性特有の心身不調などの健康課題に特化し、心理社会的および身体的な健康・生活支援のための諸理論並びに先端的な看護介入法について論究する。 (オムニバス方式)
小児・女性看護学特講演習	渡邊タミ子教授 佐山 光子教授 渡邊 岸子准教授 定方美恵子准教授	小児、女性、及び家族の健康支援について、個人や家族の発達過程とともに地理的特性や文化風土も視座におき、特有の支援ニーズをもつ個人や家族の看護介入に関する国内外の文献の講読と批判的思考を通して、学際的な研究法の理解を深め、それを応用できるように演習を行う。 (オムニバス方式)
地域・国際看護学特講	丹野かほる教授 西山 悦子教授 中村 勝教授 宮坂 道夫准教授	人々の健康と地域社会の風土、文化の相互作用に注目し、さらには人々の健康問題について、国境を越えた世界レベルで捉え、特定の国の文化や国情の違いを踏まえながら、その地域で生活する人々の疾病予防のための生活習慣ならび健康行動の測定指標の開発ならび看護介入法、研究法について論究する。(オムニバス方式)
地域・国際看護学特講演習	丹野かほる教授 西山 悦子教授 中村 勝教授 宮坂 道夫准教授	地域社会の風土と伝統・文化、さらには歴史・政治経済といった社会環境を視座におき、特有の支援ニーズを持つ人々の健康問題に焦点をあて、援助理論やケア開発技術について国内外の論文の精読と批判的思考を通して、地球規模での健康支援の研究手法の理解を深め、それを応用出来るように演習を行う。(オムニバス方式)
成人・老年看護学特講	青木 萩子教授 加藤真由美教授 鈴木 力教授 村松 芳幸教授	成人、老年期にある人々の多様な健康状態と社会生活の変容過程における支援について、重要課題の特定、問題解決的アプローチと成果、ケアの質管理、ケアの測定指標やケアシステム開発等について必要な理論および検証過程をさまざまな専門的視点から論究する。(オムニバス方式)
成人・老年看護学特講演習	加藤真由美教授 青木 萩子教授 鈴木 力教授 村松 芳幸教授	成人・老年看護学特講をふまえ、理論生成および検証過程の理解を通し、研究システムや研究手法の探索および研究計画を作成し、各自予備研究等を行う。 看護実践能力の向上をめざすものは、看護・教育等の実際を通し、看護現象の分析、組織調整、倫理的判断、エビデンスの集積・生成等の過程を体験し、かつ自己評価とともにスーパービジョンを受け、看護問題に対する多面的アプローチ法開発の実現に向けた演習を行う。(オムニバス方式)

授業科目	担当教員	授業科目の概要
保健学特定研究（看護学）	丹野かほる教授 西山 悦子教授 渡邊タミ子教授 佐山 光子教授 <b>加藤真由美教授</b> <b>鈴木 力教授</b> <b>村松芳幸教授</b> 渡邊 岸子准教授 定方美恵子准教授 宮坂 道夫准教授	看護学の視点から健康や生活支援に関わる研究課題を設定し、倫理的配慮にもとづいて研究計画の立案、各種調査法や実験法等によるデータ収集、質的又は統計学的手法を用いて分析し、それらを通して研究論文の作成に至るまでのプロセスを自立してできるように指導する。

特定研究指導教員一覧

分野	教員名	主な研究テーマ	照会先メールアドレス
看護学	丹野かほる	開発途上国におけるリプロダクティブヘルスと母子保健，ジェンダーと健康問題の看護介入方策	tanno
	定方美恵子	女性の不定愁訴に対するケア技術開発法	atom
	西山 悦子	地域社会の諸特性と人々の生活習慣と健康問題の評価法と看護介入法	enishi
	渡邊タミ子	障害児・慢性疾患児とその家族の健康支援法	watamiko
	佐山 光子	性と生殖の健康に関する女性・家族の意志決定と介入法	msaya
	加藤真由美	転倒・転落予防に関する研究	mykato
	渡邊 岸子	不登校児の心理社会的問題と看護カウンセリング	watanabe
	宮坂 道夫	生命倫理学，医療倫理学，看護倫理学の方法論についての研究，ナラティブ・アプローチについての研究	miyasaka
	鈴木 力	外科領域悪性疾患（がん）の患者，特に外科手術後患者の病態生理	t-suzuki
	村松 芳幸	睡眠と健康	mirayosi

